



知っておきたい医療のこと

誰でもなり得る「白内障」

早期治療で明るい老後を

今回のテーマは、「白内障」。年齢とともに、ほとんどの人が発症するという白内障の症状や治療法について、なかつぼ眼科の中坪先生に伺った。

## Q. 気になる白内障の症状。手術を受けるタイミングは？

視力・進行状況・年齢を考慮して、医師と相談して決めましょう。進行しすぎると手術の難易度が上がることもあります。



今回教えてくれたのは  
なかつぼ眼科  
中坪 弥生先生

眼科医。関西医科大学付属滝井病院眼科助教、JCHO星ヶ丘医療センター眼科部長などを経て、2024年4月「なかつぼ眼科」開院。

目の水晶体のたんぱく質が変性して濁る病気、「白内障」。老化現象の一つで、特に60歳代前後から発症しやすく、70歳代では8割以上の方に進行がみられます。「視力が下がる」「目がかすむ」「まぶしく感じる」などの自覚症状があり、これらのサインがある方は要注意。症状は急激に悪化することはなく、徐々に進行します。片目だけ進行している場合は、変化に気づかない人も多

いのです。左右の目で見え方に違いはないか、ご自身でも確認してみてください。日常生活に支障がない初期段階では、点眼薬で進行を遅らせることも可能です。症状が進行すると、濁った水晶体を人工眼内レンズに交換する手術「水晶体再建術」を行います。手術時間は20〜30分程度で、術中・術後に痛みを感じることはありません。当院では、手術日の前後に診察を行いながら、

日帰りで手術します。目の手術ということですが、術後は、「それ程でもなかった」と話される方が多いです。不安感が強い方には、笑気ガス麻酔も採用しています。少しでも気になる方は、一度眼科を受診されることをお勧めします。

(上)「白内障に限らず、年齢を重ねると目は様々な病気にかかりやすくなります。異変を感じた場合、放置しないことが大切です」(中坪先生)

(左)4月に開院したばかりの綺麗な院内。1階「大津耳鼻咽喉科・ボイスクリニック」の大津先生は、中坪先生のお兄さん。

医院HPはこちら



なかつぼ眼科

高槻市西町65-2 2階  
午前診／9時～12時半、  
午後診／16時～18時半  
休診／木曜・日曜・祝日・土曜午後

☎072-669-7130

